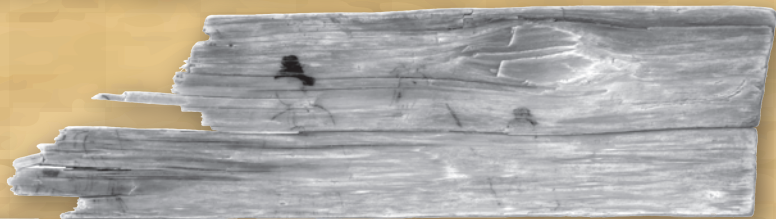


全国2例目の大発見

「女子群像」板絵とは？

6人の女性が描かれているよ！

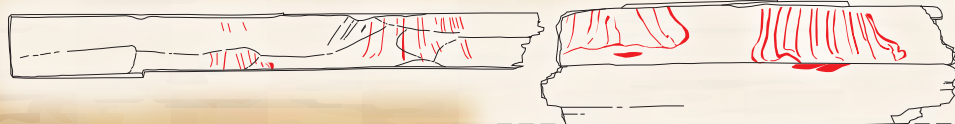


(写真撮影：奈良文化財研究所)

「女子群像」板絵（青谷横木遺跡出土）

上：赤外線写真

下：実測図



1 いつの時代のもの？

青谷横木遺跡（鳥取市青谷町）出土の「女子群像」板絵は、国宝「高松塚古墳壁画」と同じ飛鳥時代（7世紀末～8世紀初頭）のものと考えられます。

国宝「高松塚古墳壁画」と「女子群像」板絵の女性達は、服装や持ち物などがよく似ているね。



「高松塚古墳壁画」

画像提供：明日香村教育委員会

2 何をしている絵？

高松塚古墳のように石室内に人物群像が描かれることがあります。

このため、板絵の女子群像は葬送儀礼に関する行列の様子を描いた絵と考えられます。

中国や朝鮮半島にも人物群像の壁画のある古墳があります。それらの絵は儀式や外出の様子を表したものとされています。「女子群像」板絵とこれらの地域との関係も注目されます!!

3 「女子群像」板絵の謎とは？

人物群像は、中国や朝鮮半島（高句麗）の墓室に描かれるもので、飛鳥時代、大陸文化を受容した高松塚古墳を造った人たちは、その画題を取り入れたものと考えられています。

飛鳥時代に最新情報の画題をもとに「女子群像」板絵を描いた人たちは、どのような人たちだったのか？ この板絵は何のために描かれたのか？ その謎をこれからの研究で解明していきます。

「女子群像」板絵が出土した青谷横木遺跡



【発掘された古代山陰道】

青谷横木遺跡は、古代山陰道や大量の木簡・形代（祭祀具）が見つかった注目度ナンバー1の遺跡です。

